

令和2年度 予算のお知らせ

水道事業会計には、収益的収支予算と資本的収支予算の2つがあり、どちらも税込み表示としていますが、収益的収支における純利益には消費税及び地方消費税は含みません。また、()内の数値は前年度対比での増減率を表しています。

収益的収支

水道水をつくり、家庭に届けるために必要な経費とその財源です。

その他収入 1億3,144万円(1%減)	純利益 2億1,367万円
長期前受金戻入 ^(※) 2億9,730万円(4%減)	減価償却費 10億3,455万円(2%減)
加入負担金 1億4,369万円(1%減)	資産減耗費 1,871万円(11%増)
(※)「長期前受金戻入」とは、固定資産の取得に当たり財源となった国庫補助金等のうち、当該年度の減価償却費に対応する額を収益化するもので、現金収入を伴わないため、補てん財源としては使えません。	その他費用 5億4,810万円(16%増)
水道料金 25億1,420万円(1%増)	支払利息 1億385万円(9%減)
受水費 5億3,910万円(28%減)	給・配水費 1億3,543万円(38%増)
浄水費 3億9,359万円(4%減)	収支不足額 13億5,192万円(5%増)
収益的収入 30億8,663万円 (1%増)	収益的支出 27億7,333万円 (5%減)

資本的収支

水道施設の新設、改良をするために必要な経費とその財源です。

留保資金等 補てん財源	収益的収支の支出の中には、減価償却費のように現金支出を伴わないものがあり、これらは企業団内部に留保されます。資本的収支の不足額は、このような留保資金等で補てんされます。
収支不足額 13億5,192万円(5%増)	その他事業費 8,233万円(9%増)
出資金 4,072万円(2%増)	企業債償還元金 5億333万円(6%増)
工事負担金 195万円(75%減)	庁舎及び関連施設整備費 4,453万円
企業債 3億円(40%減)	配水施設整備費 3億2,096万円(20%増)
資本的収入 3億4,267万円(38%減)	水源・浄水場施設整備費 7億4,344万円(27%減)
資本的収入 3億4,267万円 (38%減)	資本的支出 16億9,459万円 (8%減)

令和2年度は、恒久水源の確保に伴い、受水費や水源・浄水場施設整備費が減少するため、収益的支出は前年度比5%減、資本的支出は前年度比8%減となっています。

しかし、今後は恒久水源の維持管理費用が新たに発生するとともに、引き続き老朽管更新等の課題に取り組む必要があるため、より一層の経費節減等を行いながら、可能な限り水道料金に影響を与えないよう努めてまいります。

令和2年度の主な事業

- ・恒久水源確保に係る取水施設等整備事業
- ・配水施設整備事業(老朽管更新等)
- ・庁舎及び関連設備整備事業